

北海道タレント・アスリート発掘・育成プロジェクト (H25~H35)

◆目的

北海道の地域特性を生かした冬季競技をターゲットとし、各種目の能力開発プログラムを開発するとともに、小中学生の有望な選手を発掘・育成して、冬季スポーツ世界大会でのメダル獲得を目指す。

現状

- これまでの道としての選手強化の取組は中高生が中心。
- 少子化や指導者不足、スポーツをする子しない子の二極化等の影響もあり、マイナースポーツに人材が集まりにくい。
- 医科学的な分析に基づく資質・特性に応じた競技種目の選択が進んでいない。



北海道

連携・協力

道競技団体



競技種目

- ・カーリング競技
- ・バイアスロン競技
- ・スケルトン競技

対象

- ・小学5年生・6年生、中学1年生の男女
- ・各競技10名程度
- ・育成期間／10年間

事業内容

〈発掘〉

オーディション
入替選考
全道数力所

〈育成〉

育成プログラム

- 10年後の世界での活躍を目標に、選手の育成を図る。
- 競技別トレーニング
地域拠点ごと（毎週）、集合トレーニング（毎月）
 - 3競技合同の合宿

〈パスウェイ〉

ナショナルチーム
五輪出場

HOKKAIDO TID